

久保田市長の第14回 全力投球



世界青年の船がやって来た

アルジェリア、オーストラリア、ブラジル、ジブチ、エジプト、オマーン、パナマ、ペルー、ポーランド、セネガル、スリランカ、スウェーデン。この中に、行ったことのある国は、ありますか？

12か国の青年が来た

先日、内閣府の世界青年の船が静岡県内にお越しになりました。掛川市では、キウイフルーツカン トリーJapanにてメロン、いちご、キウイでおもてなしをしながら、冒頭に挙げた12か国100人余の青年たちとBBQやお米の重さ当てゲームを楽しみました。翌日には、市内の高校を訪問し、高校生たちも英語での会話や昼食を通じて、青年団と交流しました。

25年前の広報かけがわのおかげで

私自身、大学生の頃に国の事業でデンマークに派遣されたことがあります。かけがわに掲載されていた募集記事を母が見つけて教えてくれたこ

とがきっかけでした。後に内閣府に入り、東京でこの世界船も担当していたため、今回の交流事業はとても感慨深く、嬉しいものがありました。

姉妹都市に高校生を派遣します

掛川市では、3月に米国オレゴン州ユージン市に高校生7人を派遣いたします。先月結団式が行われ、異文化体験と英語挑戦への熱い思いを、高校生から聞かせてもらいました。機会を存分に生かし、掛川代表として、姉妹都市の市民のみならずと交流親善を図るとともに、将来的には世界船で出会った青年たちのように、世界で大活躍されることを期待しています！



世界青年の船 青年団とのBBQ

地域おこし 協力隊通信



キタムラジュン

① 観光・シティブロモーション課

Vol.22 (21-1121)

地域おこし協力隊の1年目が終了しました。移住者としてミル（見・観・視・診る）ことを意識的に、掛川で活動する多くの方と触れ合うことができました。学びのキャンパス化プロジェクト『掛川100景』で、新しい掛川の魅力と出会えたことも大きな収穫です。

「あなたの好きな掛川の景色は？」という質問があったので、協力隊イチ押し『景』を3つご紹介させていただきます。

■ 3つの現場

のどかな天竜浜名湖鉄道の駅。好きな1番の理由は『いいい』という駅名です。漢字表記だと画数が多いですが、コトバの意味だけでなく響きも素敵です。他にも『いいい』は沖之須コミュニティ



ティセンターの名前になっています（実は、自分の子どもの名前もイコイです）。

■ コーニングロード

大淵地区にある道路。アメリカ映画や歌の影響か、道に英語の名称が付いているとなぜかワクワクしてしまうのです。

『姉妹都市交流10周年記念』と書かれたひと昔前の看板があるのですが、その道を通るたびに「今は何周年なのだろう？」とギモンが湧きます。

■ 粟ヶ岳山頂

市内から富士山が見えると嬉しくなるのは私だけでしょうか？ 粟ヶ岳は標高532m。眼下に広がる茶畑と掛川の風景、そして遠く富士山を望めるスポットです。

山頂にある『かつぼしテラス』へは車でも行けますが、歩いて登るとより景色の味わいが増します。他にも富士山が見える掛川のビュースポットがあったらぜひ教えてください！

※地域おこし協力隊は、総務省が推進する地域活性化の一環で、地域資源の発掘と持続可能な発展を目指す取り組みです。



掛川100景 紹介サイト